

レッスン：解説動画インデックス

★ 各チャプター（1～17）の下にある **play**：再生をクリックして視聴願います。
（ **download**：ダウンロード をクリックしてダウンロードできます。）

Pre Release Introduction：リリース前の紹介

Pure Psychometry のプレリリース版を購入された方への一時的な紹介です。

Introduction：イントロダクション

ピュアサイコメトリーの紹介。

What You Get：あなたが手に入れるもの

パッケージの中身紹介。

- バッグと同じ生地（ベルベット）の目隠しと、4つのバッグ。バッグサイズは大きすぎず、小さすぎず、観客が小物を入れるにちょうど良いサイズ。秘密のマーキングがありますがその解説は次章。
- パック・スモールで、クローズアップからステージまで7分から10分のショーが可能。

What is Psychometry：サイコメトリーとは

ディーがサイコメトリーについて説明します。

- サイコメトリーとは物体に残る人の **残留思念** を読み取ること。この能力を使って、目隠しで物に触れて（たまには触れずに）、その持ち主を特定していきます。
- バッグ（袋）に仕掛けがありますが、現象としては袋の中に入れた物の残留思念を読み取っていくこととなります。
- 仕様する物は小さいものですが、パーラやステージでも大きく振る舞って演じられます。

Marks：マーク

バッグに隠された秘密のマーキングシステムを学ぶ。

- 彼のマーキングは、見ても触ってもまず分からない巧妙なマーキングです。

Blindfold Technique：目隠しテクニック

目隠しを最大限に活用する方法を学びます。

Basic Handling：基本ハンドリング

秘密の情報を得るために、演技中にバッグをどのように扱うか。

Structure One：構成1

ディーが、より演劇的で満足のいくルーティンの終わり方を教えます。

- 2つまでは上記「基本ハンドリング」で当てていきます。残り2つについては、残った観客2人にステージに上がってもらい演者の左右に立ってもらいます。（左右どちらが何番の観客が分かるように）
- 波動を検知する仕草で、2つの中身を2人に返します。

Structure Two：構成2

最後のバッグには触れずに中身を占うように見せるエンディング。

- 3 つまで、「基本ハンドリング」で当てていきます。残った1 つについては、バッグに触れずにその観客をステージに上がってもらいます。
- バッグの波動と本人の波動を検知する仕草で、最後のバッグを彼に渡し、中身を取り出し確認してもらいます。⇒バッグには触れずに誰の中身かを当てた現象となります。

Structure Three : 構成 3

「● ● ● ● ●」を使って、さらに明白な不可能性を作り出す方法。

- 3 つ目まで「基本ハンドリング」で当てていきます。除けておいた観客のバッグについては、中身を取り出さずに触ることもなく目隠しのまま、これが誰のものかを当てていきます。さらにその物に込められたエネルギーを感じ取るようにして、持ち主の名前、住んで居る所、どんな物か誰からもらったものかどこで買ったものか等の情報を開示していき、強烈なエンディングとします。

Structure Four : 構成 4

より多くの、観客を驚かせる手順演出。より多くの情報を得るための巧妙な方法。

Structure Five : 構成 5

サイコメトリーを一度に演じる必要はありません。他のトリックと組み合わせて演じる。

Hoy Book Test : ホイ・ブックテスト

サイコメトリーを紹介する別の方法を学びましょう。場を盛り上げる完璧なオープニングがあります。

Impression Ideas : 印象のアイデア

この模擬プレゼンテーションでは、ディーは一般的なアイテムを取り上げ、彼が受け取るであろう「印象」を即興で表現します。

Close Up Quiver : クローズアップ・クイヴァー

人気のクローズアップ・スイッチング・デバイスを使った別の方法。

Outro : アウトロ

ディーがプロジェクトをまとめ、別れを告げる。

Supplements : 補足

彼の著書「アストラル・サイコメトリー」12 章の PDF が付録として付属しています。(英語、82 ページ)

こちらは、別途興味ある方は、自動翻訳を使いながら読んでみてください。

★ 上記各解説動画については、全て日本語で詳細解説しております。

—以上—

【フェザータッチ MAGIC】 www.ftmagic.jp